

断続的降雨、葉いもちの発生急増のおそれ！

育苗箱施薬（いもち病）を行っていない圃場では葉いもちが発生しています。また、

7月10日すぎには箱施薬の効果も切れ、 葉いもちにかかりやすくなります。

天気予報でも、**早生出穂期まで、発病に好適な天候が続く予報**であるため、全県的に穂いもち病多発の恐れがあります。

天気予報を確認し、雨の合間をみて**必ず防除**を行ってください。

1 防除時期

●現在、発生が多くみられる圃場

拡大を防ぐため

雨の合間を見て直ちに防除を行う

●現在、発生が少ない、もしくは発生が未確認の圃場

穂いもち防止のため

穂ばらみ期～出穂直前に必ず防除を行う

※発生が少なくても5日ほど様子を見て拡大が著しい場合は直ちに防除を行う。



葉いもち（上）と穂いもち（下）

2 主な防除薬剤

※農薬の表示（収穫前日数など）を確認し、正しく使いましょう

| 剤型 | 薬剤名 | 希釈倍率 | 使用量 | 成分数 | 備考 |
|---------------|-------------|--------|-----------|-----|--|
| 粉剤 | ビーム粉剤 DL | — | 3～4kg/10a | 1成分 | ・散布後4時間程度降雨がなければ充分効果がある。 |
| | ラブサイド粉剤 DL | | | 1成分 | |
| | ブラシン粉剤 DL | | | 2成分 | |
| 液剤 ・ ゾル | ブラシンフロアブル | 1,000倍 | 60～150ℓ | 2成分 | |
| | トライフロアブル | 1,000倍 | 60～150ℓ | 1成分 | |
| | ビームエイトゾル | 250倍 | 25ℓ | 1成分 | |
| 粒剤 | オリブライト1キロ粒剤 | — | 1kg/10a | 1成分 | ・発生から10日後までに散布する。 ・湛水深3～5cmで散布し、自然落水させる。 ・施用後一週間はかけ流しをしない。 |
| | オリブライト250G | | 250g/10a | 1成分 | |

☆詳しい農薬情報は農薬登録システム(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)をご覧ください。